

なめりかわ

し 市議会だより

No.188

平成29年11月1日発行

滑川市議会

☎(076) 475-2111

E-mail:gikai@city.
namerikawa.toyama.jp



常任委員会、特別委員会からの政策提案を市に提出

平成29年9月27日

昨年に続き、総務文教、民生環境、産業建設の各常任委員会と観光問題・交通アクセス等検討特別委員会の各委員会でまとめた政策提案を市に提出しました。提出した政策提案は、市ホームページでご覧いただけます。

平成29年9月定例会一覧

合 計	陳 議 員 提 出 (趣 旨 採 択)	議 員 提 出 (原 案 可 決 (原 案 同 意))	人 事 情 (原 案 可 決 (原 案 認 定))	そ の 他 (原 案 可 決 (原 案 認 定))	そ の 他 (原 案 可 決 (原 案 認 定))	条 算 (原 案 可 決 (原 案 認 定))	予 算 (原 案 可 決 (原 案 認 定))	予 算 (原 案 可 決 (原 案 認 定))	○議 員 會 議 案 審 議 結 果		○委 員 會		○本 会 議 (主 な 内 容)		開 会 9 月 4 日	閉 会 9 月 27 日	会 期 24 日 間																									
									議 員 提 出 議 案		委 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決		委 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決		議 員 提 出 議 案		議 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決		議 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決		議 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決		議 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決		議 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決		議 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決		議 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決		議 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決		議 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決		議 員 長 報 告 ・質 疑 ・討 論 ・採 決							
29 件	1 件	5 件	2 件	8 件	6 件	5 件	1 件	1 件	19 件	20 件	21 件	22 件	23 件	24 件	25 件	26 件	27 件	28 件	29 件	30 件	31 件	11 日	12 日	13 日	14 日	15 日	16 日	17 日	18 日	19 日	20 日	21 日	22 日	23 日	24 日	25 日	26 日	27 日	28 日	29 日	30 日	31 日

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は12月です。

滑川市議会議員政治倫理条例を制定しました

◎政治倫理条例とは

昨年制定した滑川市議会基本条例第20条では、議員は、政治倫理について、「議員は、高い倫理的義務が課せられることを自覚し、市民の代表として識見を高め、市民の信頼を得るよう努めなければならない。」としており、「議員の政治倫理については、別に条例で定める。」こととしています。

◎政治倫理条例のポイント

・議員が遵守すべき政治倫理基準の具体的項目を規定（第3条）

- (1)市民の信頼を損なう行為の禁止
(2)全体の奉仕者として、常に倫理の向上に資すること。

・審査結果の公表（第9条）
議長は審査結果を受けた日から以内にその写しを審査請求者に付し、その概要を市民に公表しなければならないと規定しています。

・審査結果による措置（第10条）

踏むことで、議長に審査を請求する
ことができるとしています。

第1回 臨時会

			議長は審査結果を受けた日から7日以内にその写しを審査請求者に送付し、その概要を市民に公表しなければならないと規定しています。
	・審査結果による措置（第10条）		
	議長は、審査会の報告を尊重し、議会に諮詢り、所要の措置を講じ、もつて政治の名譽と品位を守るよう規定しています。		
9日	富山県東部消防組合議会提出 案牛議員説明会（魚津市）	4日	朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会 通常総会（魚津市）
		東部山麓道路建設促進期成 同盟会総会（魚津市）	議員連盟理事会・臨時 総会・講演会（富山市）
		北朝鮮に拉致された日本人 を早期に救出する富山県	北朝鮮に拉致された日本人 を早期に救出する富山県

滑川市議会議員は、滑川市民からの信頼により、市政を任せられています。このことを認識し、市民の皆さんへ奉仕する者として、人格と倫理の向上に努めなければならぬこと、そして、議員であることによる影響力を不正に使うこと等によって、自己又は特定の者の利益を得ることのないよう、必要な事項を定めることにより、議員に対す

・**政治倫理審査会の設置（第4条）**

(5) 市職員等が公正に行う職務執行を妨げるような働きかけの禁止

(6) 市の請負契約において、地方自治法第92条の2の趣旨を尊重し、議員の兼業は市民の疑惑を招かないよう注意する。

・政治倫理審査会の設置（第4条）

議長は、前条に定める政治倫理基準に抵触していると認められるとき、又はおそれがあるときは、速やかに滑川市議会議員政治倫理審査会を設置し、審査を付託することとしていることによる影響力を不正に使うこと等によって、自己又は特定の者の利益を得ることのないよう、必要な事項を定めることにより、議員に対する

・市民の審査請求権（第5条）

- ・市民の審査請求権（第5条）

に、市政に対する正しい認識と自覚を持ち、公正で開かれた民主的な市政の発展に貢献することを目的としています。

市民は、議員が第3条に掲げる政治倫理基準に違反する疑いがあると認められるときは、所定の手続きを

・市民の審査請求権（第5条）

市民は、議員が第3条に掲げる政
治倫理基準に違反する疑いがあると
認められるときは、所定の手続きを
ます。

平成29年第1回市議会臨時会は、会期を7月24日の1日間と決めた後に、議案第47号「動産の取得について」の市長提出議案1件及び報告4件が上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の産業建設委員会へ付託しました。

その後、本会議を開き、産業建設委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、委員長の報告のとおり、賛成全員で可決されました。

第1回臨時会を閉会といたしました。

29年8月	2日	議会運営委員会協議会
	3日	産業建設委員会協議会
10月	4日	朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会
10月	9月	東部山麓道路建設促進期成同盟会総会(魚津市)
10月	12日	通常総会(魚津市)
10月	27日	北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県議員連盟理事会・臨時総会・講演会(富山市)
10月	30日	富山県東部消防組合議会提出案件議員説明会(魚津市)
10月	29日	議会運営委員会協議会
10月	28日	定例議員協議会
10月	24日	総務文教委員会協議会
10月	22日	観光問題・交通アクセス等検討特別委員会協議会
10月	24日	富山県東部消防組合議会
10月	24日	議員協議会・全員協議会
10月	28日	本会議(魚津市)
10月	28日	議会運営委員会
10月	29日	産業建設委員会協議会
10月	29日	富山県市議会議長会臨時総会
10月	29日	県知事との懇談会
10月	29日	(小矢部市)
10月	29日	定例議員協議会
10月	29日	民生環境委員会勉強会
10月	29日	朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会要望会
10月	29日	(東京都 新潟市)

◆平成29年度一般会計補正予算(第2号)

滑川漁港周辺用地等購入費48,000千円を6月定例会に引き続き減額修正し、賛成全員で可決

◆議員提出議案「滑川市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について」「滑川市議会会議規則の一部を改正する規則」を可決

→ 3常任委員会から2常任委員会へ
新たに「広報広聴委員会を」設置

本会議

9月定例会

市議会9月定例会は、9月4日から27日までの24日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成29年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案21件（追加議案2件を含む）、議員提出議案5件、陳情1件、議員派遣及び閉会中の継続審査の合計29件です。

審議の結果、市長提出議案の20件は原案どおり可決、認定または同意されました。一般会計補正予算については、委員会修正案が可決、また、議員提出議案5件、議員派遣及び閉会中の継続審査につきましても原案どおり可決されました。

情を所管の各委員会へ付託しました。
△なお、決算特別委員会の委員は、次の議員に決まりました。

委員長	高木 悅子
副委員長	谷川 伸治
委員	尾崎 照雄
委員	中原 明
委員	古沢 利之
委員	中川 勲

△9月4日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、予算及び条例等の市長提出議案19件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。その後、本会議を再開し、決算特別委員会の設置を決めるとともに、委員の選任を行いました。

△11日、12日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

△15日に本会議を開き、議案第65号に対する産業建設委員長の審査結果報告、質疑、討論があり、高木悦子議員から反対の立場での討論がありました。その後、採決を行い、賛成多数で可決されました。

△最終日の27日には本会議を開き、総務文教・民生環境・産業建設の各常任委員長、及び決算特別委員長か

ら、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。（P4～6）
議案第48号の修正案に対し、水野達夫議員から賛成の立場で討論があり、議案第66号に対しても古沢利之議員から反対の立場で討論がありました。分離採決の結果、議案第48号については、産業建設委員会の報告による修正案が賛成全員で可決、議案第66号は、賛成多数で可決しました。その他の16議案は一括して採決され、各常任委員長及び決算特別委員長の報告のとおり賛成全員で可決または認定されました。

次に陳情第1号について採決され、総務文教委員長の報告のとおり賛成多数で趣旨採択となりました。

その後、市長から人事案件として、滑川市固定資産評価審査委員会の委員に石山敏雄氏（赤浜）の選任、滑川市教育委員会の委員に大橋央氏（領家町）の任命について追加提案され、いずれも賛成全員で同意としました。

続いて議員提出議案5件の提案理由説明の後、採決を行い賛成全員で可決されました。

最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を議決して、9月定例会を閉会といたしました。

常任委員会での審査（主な質疑等）

各常任委員会への付託案件はP14をご覧ください。

■総務文教委員会

慎重審査の結果、「議案第48号」及び「議案第50号」については、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「陳情第1号」については、9月12日に委員会を開催し、陳情者の趣旨説明を行ふことを決定しました。慎重審査の結果、既存の業務に加え、「科学の時間」の実施により更なる負担の増加が教員に多忙感を生んでいること、教員と滑川市教育委員会との間で「ミニュニケーション」が不足していること、以上の理由により見直すべき点もあると考えられることから、趣旨採択とすべきとして採決を行い、賛成多数で趣旨採択とすべきものと決定しました。

☆平成29年度滑川市一般会計補正予算（第1号）について

市立保育所運営費について、「被害の発生と拡大の防止の観点から、こまめな点検を行うべきである」と意見がありました。

☆屋内運動場条例について
問 使用料に曜日、時間帯による区分を

設けた理由は。

答 子どもたちが利用する時間帯を午後2時から7時までと想え、午前9時から午後2時までについては高齢者に利用していただきたいことから、半額の料金設定にした。

「議案第66号」については、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「陳情第1号」については、9月12日に委員会を開催し、陳情者の趣旨説明を行ふことを決定しました。慎重審査の結果、既存の業務に加え、「科学の時間」の実施により更なる負担の増加が教員に多忙感を生んでいること、教員と滑川市教育委員会との間で「ミニュニケーション」が不足していること、以上の理由により見直すべき点もあると考えられることから、趣旨採択とすべきとして採決を行い、賛成多数で趣旨採択とすべきものと決定しました。

☆平成29年度滑川市一般会計補正予算（第1号）について

市立保育所運営費について、「被害の発生と拡大の防止の観点から、こまめな点検を行うべきである」と意見がありました。

☆屋内運動場条例について
問 教員に対する教育委員会からの説明者へ質疑を行いました。

■民生環境委員会

付託された3議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

が不足すると感じることはないか、コミュニケーション不足ではないか。

答 労働組合として説明会の開催を求めて止めてもらえないという思いが強い。

その後、教育委員会より「今回の陳情については、単なる個人的な思いと思われるところから、意見を言うべき内容ではないと考えている。」との見解が表され、委員から質疑を行いました。

問 陳情者の言い分に一理あるので、市としての見解がないのは残念である。現場の教員の声を聞くことをおろそかにせず、見直すべきものは見直して欲しい。

答 基本的には生きる力を養うということが出発点である。いま始まつたばかりであり、これから色々な面で現場からの声を聞けると思っており、発展的に進めて参りたい。現場を中心とし、教員がやりやすい授業を思いつきりやっていきたくことが、子どもたちに良い影響を及ぼすと考えている。

■産業建設委員会

議案第65号については、慎重審査の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆工事請負契約の締結について
問 用地費の支払いが済んでいないのではないか。

答 売買契約後の所有権移転登記の中で、相続の手続等もあつたことから時間を要

☆平成29年度滑川市一般会計補正予算（第2号）について
問 マイナンバーカードの申請率はどうなのか。

答 平成29年8月末現在の交付申請数は3千46件で9・12%である。

問 マイナンバーカードの使い方が見えていないため、市民からの申請が増えないのではないか。当局の見解はどうか。

答 現在はe-Taxと顔写真入りの身分証明書に利用できる程度で、なかなか必要性を感じられない方が多いのではないかと考えている。国では住民票等をコンビニで取得できるよう勧めているが、システム改修費と運営経費が大きく、当市においても今後検討していく予定である。

☆平成29年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について
問 基金を積み立てて今後どういった形で運用していくのか。

答 国からの指示のとおり、第7期の計画時に基金を取り崩して使っていく。

したため、支払いができない。現在作業を進めており、できるだけ早く支払いを終えた。

問 地元説明会が開催されていないのではないか。

答 現在仮契約であり、本契約となつた時点で説明会を実施したい。

問 計画がスタートしてから、2年間の期間があつたのに、時間がないということを理由にするのは市の怠慢ではないか。

答 農地転用や農振除外、特に県の開発行為の許可の協議に時間がかかった。

問 売買単価をいくらに設定するのか。

答 県内の団地の価格を調べながら、價格を設定したい。

問 市内業者に分割発注はできなかつたのか。

答 愛市購買はもちろんあるが、売買単価と工期を考え方括発注とした。

問 工場の誘致に関して、地元住民の環境に配慮していただきたい。

答 地元に対して細心の注意を払つて進めたい。

なお、高木委員から「愛市購買、市内業者の育成」という理由で反対の立場から討論がありました。

議案第48号については、修正案が提出されました。修正案は、「歳出第7款 商工費 第1項 商工費のうち、6目 深層水振興費の深層水利活用推進事業費の4千800万円と、それに対応する歳入4千800万円を削減するものであり、提案の理由としては、滑川蒲鉾株に関しては、6ヶ月定例会において、購入価格の妥当性、取得後の用途・目的等の計画について指摘がなされたにもかかわらず、購入価格

については内容の再検討がなされていないこと、計画についても、具体性に欠けている問題点の解決に至っていないためといふことでした。

慎重審査を行なった結果、修正案及び議案第48号のうち修正案に対応する部分を除く部分については、賛成全員で可決すべきものと決定いたしました。

☆平成29年度滑川市一般会計補正予算（第1号）について

問 滑川蒲鉾の購入理由の一つとして、深層水の研究拠点にというのがあるが、倉橋先生の研究に関して、具体的なものを見えない中で、いつたい何を頼もうとしているのか。

答 平成28年度に予定していた研究については、倉橋先生の都合によりできなかつた。28年度から29年度に向かうにあたり、深層水を総合的に活用する中で何が良いか、深層水に長ける倉橋先生からの意見をもらいながら研究を設定している。

問 何を委託するか、研究内容が転々としている。滑川市でテーマを設け、それに適した研究者を探してきたわけではなく、倉橋先生の研究したい内容に援助するよう聞くこえる。滑川の主体性はどこにあるのか。

答 今まで農業の研究等はやつてきたが、ブランド化には至っていない。深層水を全国ブランドにするために、どの方面的研究をして行けば良いかということを倉橋先生に相談している。滑川蒲鉾を研究のスタートの場所と位置付けて、予算を再提出させていただいた。

問 講座開設に必要な2千万円を集めることだけで良い、悪いを言つてはいるわけ

いか。

答 2千万円については、倉橋先生を紹介していただいた、滑川に関係のある方から、民間の方で集めるから任せろと言ふ話がある。

問 民間企業は當利団体である。倉橋先生の研究成果に対して何らかの意図があるから、2千万円を出すのか、滑川市に寄付するつもりで出すのか。

答 単なる研究ではなく、産業の掘り起し、事業を起こしていくという考え方である。深層水の分野はすそ野が広いが、集中して事業を起こしていく。滑川の深層水がブランドになり、産業に結びつけるスタートである。

問 滑川市は、4千800万円の買い物をしようとしている。今後さらにいくら投資するのか。

答 滑川蒲鉾は深層水だけの話をしている。野菜の関係、ダイバーの話もした。複合的に使いたい。

問 メインの事業が海洋深層水の研究ではないか。ダイバーの話もあつたが、そのために4千800万円を投資するのか。

答 総合的にいろいろやることがあると言つている。駄目だというばかりでは前に進んでいかない。

問 地元の不動産業に確認したが、通常はある建物に値段はつけない、更地の費用から取り壊し費用を差し引いたものが、通常の価格ではないかということであつた。

答 不動産のことだけであればそう言われるかもしれないが、背景が全然わかっていない。色々な要素がある。不動産のことで良い、悪いを言つてはいるわけ

ではない。あの建物をどう生かすかといふ話をしている。

問 当局がやりたいことを議会が否定しているわけではない。前提になる4千800万円が妥当なのかというところから出発があり、議会も危機感を持っている。一度これを通すと今後も莫大なお金がかかる。まずこの前提を解決したい。

答 6月議会の修正理由としては取得後の用途、目的がはつきりしていないので、しっかりと示したうえで再度議会に提出してもらいたいということであった。委員会では価格の議論もあつたが、相手とは、具体的な金額の話はしていない。どうしても既存の建物を使いたいという考えがあるので、取り壊して更地にして新たなものをとは考えていない。そのため今回同じ金額で提出したが、相手との交渉は継続している。

問 審査議案は9議案であり、議案はいずれも原案のとおり認定または可決しました。

なお、今後改善を求める事項については、次のとおりです。

【歳入】

1 市税等徴収対策室を有効に活用され、税や使用料、家賃などの収納率向上対策が図られて、その成果として収納率が向上していることに敬意を表するが、口座振替の促進や一昨年7月から開始したコンビニ収納のPRを強化したり、

■決算特別委員会

審査議案は9議案であり、議案はいずれも原案のとおり認定または可決しました。

なお、今後改善を求める事項については、次のとおりです。

1 市税等徴収対策室を有効に活用され、税や使用料、家賃などの収納率向上対策が図られて、その成果として収納率が向上していることに敬意を表するが、

口座振替の促進や一昨年7月から開始したコンビニ収納のPRを強化したり、

連帯保証人制度を効果的に活用するなど、さらなる収納率の向上を図られたい。

2 市税（住民税・固定資産税等）、国民健康保険税・介護保険料、上下水道料、市営住宅・定住促進住宅家賃等については、不納欠損となるよう、滞納防止に引き続き努めるとともに、滞納額が小さなうちから早期徴収対応に努められたい。特に、悪質な案件については、負担の公平性の観点から、さらに厳しい対応策を検討されたい。

3 今後5年間の一般会計での公債費の償還予定を見ると毎年度10億円を超える支出が続いている。特別会計においても滑川市の一般会計年間予算を上回る起債残高があるので、滑川市健全な財政に関する条例に基づき、公債費負担比率などの財政指標を念頭において、中・長期的な財政運営のさらなる改善に努められたい。

4 遊休市有地については、売却価格の見直しを進めるなど、売却に努められたい。

1 全般的に多額の不用額が発生しているが、予算要求時において前年度の不用額の内容を検証するとともに、予算査定においても査定を厳密に行い、特に扶助費の算出においては例年の実績等を考慮した上で新年度予算に反映されたい。

2 愛市購買の観点から、全庁及び関係機関の各種物品等の購入及び工事等の発注にあたっては、地元業者を最優先されたい。

3 年度末の会計処理について、納品日、検収日、請求日等の確認を徹底されたい。

4 公共施設の維持管理に年々多額の費用がかかつており、特に突発的な修繕費においてはその傾向が顕著である。

「滑川市公共施設等総合管理計画」をまとめられた折ではあるが、具体的な対策に早急に取り組まれたい。また、修繕を実施する際には、建物全体の再点検を行い、今後修繕が見込まれる箇所については同時に修繕を実施する等、修繕を実施する際には、建物全体の再点検を行い、今後修繕が見込まれる箇所については同時に修繕を実施する等、

5 各種団体への種々の事業補助金に関しては、補助金の使途が事業目的にならっているものであるか精査の上、適正な運用がなされるように指導されたい。

6 市全体が、慢性的な人手不足であることを把握した上で、特に福祉系専門職に関しては、必要に応じて政策の見直しを図るなど、人材の確保に努められたい。

7 指定管理者制度の趣旨を再度確認し、指定管理を行う業務について精査した上で、直営による管理の検討も含め、適切な施設管理に努められたい。

8 住民個人の申請に基づく行政サービス、あるいは町内会など各種団体の申請においても査定を行い、将来発生するリスクを次世代に残さないために、将来的解体費用について、当初計画に基づいて基金として積み立てることを検討されたい。

9 今後の大規模災害等に備えるために、電波を有効かつ多機能に利用できる防災行政無線デジタル化への移行を早急に検討されたい。また、防災備蓄品に用がかかる事態に対応できるよう、備蓄品の充実を図られるとともに、各家庭における備蓄についても啓発活動に努められたい。加えて、消費期限が迫っている備蓄品については、廃棄以外の有効活用に努められ、備蓄品の購入の際には、消費期限が一度に切れることがないように、購入時期をずらす等、留意するよう努められたい。

10 がんなどの病気の早期発見・治療のため、特定健診やがん検診等の受診率向上についてPRにつとめ、引き続き努力をされたい。

11 コミュニティバスを含む公共交通について、早期に地域交通網形成計画を策定し、市民の利便性向上のための抜本的な対策を講じるよう努められたい。

12 生活保護費、扶助費について、対象者の審査を適正に実施されたい。また、自立を目指す就労支援等に努力されたい。

13 市営住宅（サンコーアーバス上小泉）、定住促進住宅（サンコーアーバス上小泉、吾妻、北野）の老朽化によるリスクを

8 あるいは町内会など各種団体の申請に基づく助成金等についての不用額が目立っている。更なる広報・周知に努めるとともに、職員自身が幅広い行政サービスメニューを熟知して、住民に紹介・提案できるように努力されたい。

また、それぞれの住宅において、今後の収支見直しを実施し、入居者増に向けた政策を検討されたい。

14 市民の安全安心を守るために消火栓

の整備拡充、特に防火水槽については設置希望を検討した上で、整備拡充に努められたい。

15 義務教育である小中学校での就学援助の該当者が多数おられる中で、最もお金のかかる高校や大学への就学に対する奨学資金貸与制度の利用者が少なく、新たな制度の導入も考慮する等、さらなる制度の拡充と周知を図られるよう検討されたい。

16 文化・伝統・郷土芸能を次世代へと伝承するため、保存会等の育成や活性化に対してさらなる支援と併せて、心豊かなまちづくり事業を通して、郷土芸能（盆踊り等）の開催を検討されたい。

9月定例会では13名の議員が質問を行い、48項目について市当局の見解を求めました。

一代 貨質問

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、12月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です）ご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。）

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



4 3 2 1

ほたるいか海上観光・富山湾岸クルージング観光について
市民の安全安心に向けた取り組みについて
富山広域連携中枢都市圏形成について
第4期安田工業団地造成工事について

(会派Ⅱ会派自民) 中川 勲 議員

Q 観光船キラリン号に対するトラブルの原因と責任をはつきりさせるべきと思うが。

A 石川副市長 観光協会、運航会社、漁協が観光事業を行うことで、熱意を持って取り組んだが、具体的な運航方法で、安全体制、事業に対する考え方、協力のあり方などで違いが表面化した。調整できなかつた市の責任で、市民に大変心配をかけ申しわけなく思っている。

Q 上田市長 サイル発射、9月3日核実験を行つたが、滑川市として対応したか。

Q 上田市長 日本に影響が出るおそれがある場合は、全国瞬時警報システム（Jアラート）及び緊急情報ネットワーク（エムネット）により情報が流れる。担当職員が市役所で待機し、市内の情報収集に当たつた。北朝鮮の常識外れの暴挙に対し、国には厳格に対応してほしい。

Q 防災無線は、有事に機能するための施設であるが、大丈夫か確認したのか。

A 杉田総務部長 每年、市内34カ所に設置している防災行政無線のスピーカーを使つた一斉伝達訓練

を実施している。8月30日には、Jアラートの設定確認を行つてある。今後、Jアラートと連動した防災行政無線の動作確認を適時実施し不具合の防止に努める。

Q 激しい雨、猛烈な雨は増える傾向にある。市内全域にわたり用水の流量状況の調査把握が必要では。

A 長井建設部長 土砂災害ハザードマップを作成しているが、溢水等のおそれのある箇所を、パトロールや情報収集に努める。

Q 富山広域連携中枢都市圏とは。

A 上田市長 富山広域連携中枢都市とは、富山市を中心とし、滑川市、舟橋村、上市町、立山町が連携し将来にわたり持続可能な行政サービス、医療、福祉、文化など住民のサービス向上につなげる。

Q 第4期安田工業団地造成工事の入札をなぜ市内企業だけで行えたか。過去には、造成地を分割して行われたと聞いているが。

A 石川副市長 一括で発注したほど

は図書館や多目的ホール等の公共施設がキーとなり、産直市場や居酒屋、医療機関等の市民ニーズに応じた業種のテナント募集という形をとった。そのテナント家賃収入で建物の維持管理を行つて、この手法は有益ではないか。

Q 岩手県紫波町のオガール・プラザは農協会館跡地については、國か民間と協議することも選択肢の一つと考える。複合型公共施設の配置は総合的に検討したい。

Q 今年度の収支見込みはどうか。

A 長井建設部長 市民ニーズと合致すれば、中滑川駅前の再開発を民間と協議することも選択肢の一つと考える。複合型公共施設の配置は総合的に検討したい。

Q 予算に計上された販売収入65万円の赤字を想定している。

で千個と予算で見ていく。
Q 国産天日塩の市場価格は1kg3千円。1kg6千500円の塩を誰が買うか。販売価格を事前に調査をして、採算が合うと見込んだのか。
A 碓井産業民生部長 事前に調査をしている。
Q 天日塩も採算が合わない。急速冷凍ホタルイカも軌道に乗る見込みが無い。アクアポケットもタラソピアも税金から多額を補填しなければ大赤字。深層水の研究と言えば聞こえはいいが、砂漠の中で針を探すようなものだ。6月議会の滑川蒲鉾跡地の質問でも、市民生活のプラスにならないという話だった。滑川市民の税金を使つた殿様商売をしていないか。

Q 碓井産業民生部長 殿様商売と言われば、そういう見方もできるかもしれない。滑川の海洋深層水を商品化して滑川を発信することを頑張ろうとしている。

Q 決算特別委員会で、愛市購買の観点から物品購入や工事発注で元企業を最優先と言い続けている。指摘は市として重く受け止めている。

代表質問



3 2 1

文化と中心市街地活性化の拠点整備を提言する
海洋深層水を活用して事業すべきは
滑川市ではないのではないか

(会派Ⅱ自民クラブ) 高木悦子 議員

代表質問



1 核兵器禁止条約について

放課後児童健全育成事業について
国民健康保険の県域化について

(会派)日本共産党議員団 古沢利之 議員

2

放課後児童健全育成事業について
国民健康保険の県域化について

(会派)日本共産党議員団 古沢利之 議員

3

放課後児童健全育成事業について
国民健康保険の県域化について

(会派)日本共産党議員団 古沢利之 議員

Q 本年7月、国連において「核兵器禁止条約」が採択された。この条約についての認識はどうか。

A 上田市長 「非核宣言自治体協議会」に参加している市長として当然進めるべきだ。被爆国日本の立場は非常に残念だ。政府のとつた態度は非常に残念だ。

Q 日本政府はこの会議に参加されないのである。政府に条約の署名、批准を求めるべきでないか。

A 上田市長 全国市長会の中でもほとんどの市長は同じ思いだと思う。歩調を合わせて行動していく。

Q 学童保育の支援員の時給は、現在500円、6時以降は1千円となっている。10月から最低賃金も引き上げられる。最賃を超えているからいいということではない。改善を求める。

A 伊東教育長 賃金面の改善は今後の課題と考えている。他市の状況も見て検討していく。

Q 保険については、「スポーツ安全保険」に加入している。厚生労働省の「放課後児童クラブ運営指針」では、労災保険の加入が必要とされている。

A 伊東教育長 労災保険への切り

替えは働きかけていきたい。

Q 「指針」では厚生保険、雇用保険の加入も勧めている。

A 伊東教育長 労働時間などの面から現在該当者はいないが、条件を満たす職員がいれば各運営協議会に働きかけていく。

Q 市は学童保育の「利用基準」によれば、「求職」では2か月が限度。出産では産後1か月となつている。もっと長い自治体もある。見直す考えはないか。

A 伊東教育長 各クラブでは事情をよく聞き、柔軟に対応している。見直しは考えていないが、個別に対応したい。

Q 地元新聞によると国保の県域化で国保税の上昇を予想している自治体が6市町村あつた。本市はわからないとしているが、一般会計からの繰入を含め、引き下げを求める。

在850円、6時以降は1千円となつていて。歩調を合わせて行動していく。

A 伊東教育長 賃金面の改善は今後の課題と考えている。他市の状況も見て検討していく。

A 伊東教育長 労災保険への切り

一般質問



1 姉妹都市シャンバーグ市との

国際交流事業について

外國語(英語)の指導者について
谷川伸治 議員

2 外國語(英語)の指導者について
谷川伸治 議員

3 外國語(英語)の指導者について
谷川伸治 議員

Q 中学生20名が2泊3日のホームステイや公共施設の視察、スギノコーポの会社見学など、今回の派遣事業を総括して、中学生にどのような成果を期待しているか。

A 石川副市長 中学生は、事前に6回の研修会をやり、文化や習慣等の違いを学び、英語学習をやつたり、日本、滑川の伝統文化等をどう伝えるかを研修した。2泊3日の中泊で、英語活動支援員4名で英語を指導しているが、指導員は十分とを考えているか。

Q 現在、中学校2校、小学校7校に対し、ALT3名、英語活動支援員4名で英語を指導しているが、指導員は十分とと考えているか。

A 石倉学務課長 ALT、英語活動支援員は配置できる数を確保しており、今は十分と考えている。

Q 2020年より外國語授業が小学校3学年から実施されるが、ALT、英語活動支援員の指導者をどのように考えているか。

A 石倉学務課長 平成32年には、3、4年生は年間35時間の外國語活動、5、6年生は70時間の外國語科の学習が始まる予定。移行措置として、平成30年度には、新たに3、4年生は年間15時間、5、6年生は15時間プラスし、年間50時間の外國語学習を行う予定。

世紀の次代を担う児童への英語教育の充実のため、県や国へ英語専科教員の拡充や支援員の配置等の制度を要望するとともに研修の充実を図るなど、小学校における英語教育の推進に努めていく。

Q 今後は7名から8名程度の派遣事業として、シャンバーグ市へ3年ごとぐらいで派遣する継続事業として検討できないか。

A 研究会議員 本市は医療費水準と所得水準が高い方にあるので、国保税に影響があると考えられる。一般会計からの繰入は、県域化後の国保財政を見ながら検討したい。

Q 今後は7名から8名程度の派遣事業として、シャンバーグ市へ3年ごとぐらいで派遣する継続事業として検討できないか。

一般質問



4 3 2 1

松くい虫被害対策について
有害鳥獣被害防止対策について
地場産野菜の学校給食への使用状況について
観光の振興について

原 明 議員

- Q 海浜公園での松枯れ対策は。**
- A 川岸公園緑地課長** 松くい虫被害対策として、平成27年度に樹幹注入49本、平成26年から28年度にかけて17本の伐倒処理を実施している。
- Q 松の植林も含め、保安林の管理や整備を今後どのように進めて行くのか。**
- A 藤名農林課長** 市では、平成25年度から27年度にかけて、国、県の補助事業を活用し、1千400本の樹幹注入を実施しており、冬にも370本の樹幹注入を行う。
- Q 伐採後の補植については、保安林の機能の維持向上のため密度や生育状況を考慮しながら県に要望したいと考えている。**
- A 藤名農林課長** 8月末現在のイノシシによる農地への被害状況と捕獲状況は。
- Q 地場産野菜の学校給食への使用状況は。**
- A 石倉学務課長** 平成28年度末の学校給食の地場産野菜の使用状況

- Q 海浜公園での松枯れ対策は。**
- A 川岸公園緑地課長** 松くい虫被害対策として、平成27年度に樹幹注入49本、平成26年から28年度にかけて17本の伐倒処理を実施している。
- Q 松の植林も含め、保安林の管理や整備を今後どのように進めて行くのか。**
- A 藤名農林課長** 市では、平成25年度から27年度にかけて、国、県の補助事業を活用し、1千400本の樹幹注入を実施しており、冬にも370本の樹幹注入を行う。
- Q 伐採後の補植については、保安林の機能の維持向上のため密度や生育状況を考慮しながら県に要望したいと考えている。**
- A 藤名農林課長** 8月末現在のイノシシによる農地への被害状況と捕獲状況は。
- Q 地場産野菜の学校給食への使用状況は。**
- A 石倉学務課長** 平成28年度末の学校給食の地場産野菜の使用状況

- は、全体の使用量が95・9トンで、滑川産食材は51トンで71品目、全体の53・2%となっている。滑川食材で使用量の大きいものとしては、タマネギ、大根、ニンジン、ジャガイモ、大豆の順となつており、すべて滑川産で販売しているものとしては、大豆、里芋、冬瓜、ミカン、リンゴなどがある。

Q 地場産野菜の使用率の目標は。

A 上田市長 今70品目出してもらっているが、まだ少ない品目があり、協力いただければ75%までと予測している。

Q 観光パンフレット「ぐるっと滑川」の更新の予定は。

A 網谷観光課長 この観光パンフレットについては、今年6月に登録された国登録有形文化財の追記と市内店舗の掲載内容を見直し、年内に更新する予定である。

Q 外国語の観光パンフレットの作成状況は。

A 網谷観光課長 多言語版の観光パンフレットは、「ぐるっと滑川」をベースとして、英語版のパンフレットを2千部作成する予定である。

一般質問



1

観光について

岩城晶巳 議員

- Q 観光は、滑川市だけでは難しい。**
- A 網谷観光課長** ホタルイカシング終了後の6月から8月の入館者数は、1万2千976人で、昨年の同期1万2千899人と比較して87人の増となつた。富山湾岸クルージングができなかつた影響を心配したが、ほたるいかミュージアムでダイオウグソクムシの展示など、熱心な営業活動をしており、昨年並みの入館者が確保された。
- Q 女子アナウンサーをレポーターとして市内各所を訪問し、その様子をいろいろな形で発信する事業の状況はどうなつていてか。**
- A 岡野企画政策課長** 女性アナウンサー等による滑川市プロモーションツアーや、レポートについては、レポートを市内各所を訪問いただき、体験をしてもらう予定としている。プロモーションの後、訪問、体験の

- Q 観光は、滑川市だけでは難しい。**
- A 網谷観光課長** ホタルイカシング終了後の6月から8月の入館者数は、1万2千976人で、昨年の同期1万2千899人と比較して87人の増となつた。富山湾岸クルージングができなかつた影響を心配したが、ほたるいかミュージアムでダイオウグソクムシの展示など、熱心な営業活動をしており、昨年並みの入館者が確保された。
- Q 道の駅の休憩所にある観光協会がいいの風とやま鉄道の駅に入つてはどうか。**

- A 網谷観光課長** 本市を訪れる観光客は圧倒的に自動車の利用が多いので、道の駅休憩室での観光案内をしている。昨年、ほたるいかミュージアムの駐車場を整備して、今後さらに案内件数の増加が想定されることから、現在の場所における観光案内は必要なものと考えている。一方で、滑川市の玄関口であるあいの風とやま鉄道滑川駅における観光案内は、本市を訪れる観光客にはわかりやすいものであると考えているが、現在の観光協会の人員体制ではなかなか対応できないと思っている。

その他質問
・姉妹都市訪問について
・新規採用職員について
・社会整備について

一般質問



54321

滑川蒲鉾用地等取得について
中滑川駅周辺の再開発について
子どもの健康について
ふるさと納税について
防災について

尾崎照雄議員

Q 滑川蒲鉾用地等取得議案について、建物の耐震診断をされていないものを購入するのか。

A 石川海洋資源振興課長

そのとおりだ。

Q 建築物のアスベスト診断は行われたのか。

A 石川海洋資源振興課長

行われて

Q 中滑川駅周辺の再開発について、多様な関係者等が計画策定に参加できる機会としての協議会設置の今後の計画はどうなつていいのか。

A 児島まちづくり課長

まだ市としての方向性ができていないので、協議会の設置には至っていない。

Q 滑川市として子どもの口腔崩壊を一人も出さないという、行政としての積極的な姿勢、施策が必要と考えるが当局の考えは。

A 結城健康センター所長

口腔崩壊については、これまで引き続き、児童期からのフッ素塗布事業をはじめ、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診時の歯科検診及び保護者への歯磨き指導、また幼稚園、保育園、学校における歯科検診及び虫歯予防指導等を通じて、正しい歯磨き習慣を身につけることや、虫歯の

早期治療の定着等、口腔衛生の重要性を普及啓発していきたい。

Q ふるさと納税の使い道について、使途目的を明確に打ち出してはどうか。

A 岡野企画政策課長

使い道については、返礼品にこだわらずに寄附金の使い道に共感して寄附金を集めることとか、あるいは寄附から興味、関心を集めるという広報施策について、ほかの自治体でも独自の取り組みをされているところがあり、それにより寄附を伸ばしたということも聞いているので、

そうした先進事例について研究をして、本市のふるさと納税の活用のあり方の改善にもつなげていきたい。

Q 市内の小中学校の防災トイレの整備状況は。

A 下野総務課長

避難所を開設した際に使用するものとして、消署横の備蓄倉庫で保管している仮設トイレの利用を想定しており、小中学校での防災トイレは整備していない状況である。

その他の質問事項
・人件費について

一般質問



1

サンバーグ市との今後の姉妹都市交流について

シヤンバーグ市との今後の姉妹都市交流について

2

屋内運動場の運用について

竹原正人議員

Q 滑川市屋内運動場の設置及び管理に関する条例の中の第1条に「市民の体育及びスポーツの普及

振興を図り、並びに市民の健康増進、地域の活性化及び青少年の健全育成に資するため、滑川市屋内運動場を設置する」とあるが、具体的な思いは何か。

A 落合スポーツ課長

本市にはこれ

まで、十分な高さと広さを兼ね備えた屋内運動場がなく、野球やサッカーなどのスポーツ少年団の子どもたちが雨天時や冬場に練習内容が制限されてきた。このたび屋内運動場が整備されるにあたり、雨天時や冬場においても、技術力の向上とともに、土のグラウンドでの鍛錬が子どもたちの体力向上につながるものと期待している。さらには、平日の日中は施設の利用に比較的空きが生じるものと見込まれることから、高齢者の軽運動やウォーキング、ペタンクなどにも活用いただき、市民の健康増進を一層推進していく。また、スポーツ合宿を誘致する中で積極的に施設をPRし、スポーツ観光の推進に取り組んでいく。

6名で表敬訪問を果たすことができた。今回の海外派遣事業についての事業評価をどう考えているのか。

A 石川副市長

この事業は、しばらくの間、交流が途絶えていたが、国際的視野を広げ、世界の経済事情に触れることも大きな目的の一つである。シャンバーグ市の温かい姉妹都市に寄せる思い入れを非常に強く感じた。この20周年を記念した事業は本当に成果があつたと思う。

Q 今回の実績を踏まえ、今後の交流のあり方について市としてどう考

えていいか検討していきたい。

A 石川副市長

派遣事業について

はいろいろな考え方があると思う。今後どのような派遣事業を継続し

一般質問



1 海洋深層水の今後の利活用研究について
2 タラソピアの現状及び
今後の方針性について

水野達夫 議員

Q 昨年度の深層水利活用研究費200万円が、今議会に提出された決算書に上がつていないのでなぜか。
A 石川海洋資源振興課長 相手方の大規模な研究が急ぎよ決まつたため、委託契約を見送らせてほしいとの申し入れがあり、未執行となつてている。

Q 今年度の深層水利活用調査研究費500万円の研究内容と成果は。
A 石川海洋資源振興課長 倉橋先生の寄附講座の体制が整つていなかで、研究室との契約がまだ行われていない状況である。

Q 深層水利活用調査研究費500万円は、個々の研究費用として3月に承認したつもりであるが、6月の市長答弁では、寄附講座開設費用2千万円の一部で、不足分は民間を通じて集めたいとすり替わつているのはなぜか。

A 石川海洋資源振興課長 2千万円の寄附講座の立ち上げに市の契約を入れるという前提ではない。あくまでも寄附講座が立ち上がるといふてはいるという前提の中、単品契約等々を想定している。

Q 仮に寄附講座が開設されなかつたら、500万円はどうなるのか。

Q 滑川市公共施設等総合管理計画によれば、タラソピアの具体的な方針として「施設のあり方について3年をめどに方針を決定する」と明記されているが、「3年をめどに」の期限はいつなのか。
A 網谷観光課長 平成31年3月をめどに方針を決定したい。

Q 来年10月で20年を迎えるタラソピアの機械類の現状をどのように捉えているのか。
A 網谷観光課長 平成25年度に更新計画を立てており、早急に更新が必要なのは、ボイラーや関係と給排水管設備というふうに捉えている。

Q 災害時の避難所となる学校の断水時のトイレの水の確保は。
A 上田市長 トイレに雨水を使うこと、これは大いに使うべきで、順次整備すべきと思っている。

Q 運動公園日本庭園側の童和保育園横の、ポーテブルトイレの改修の考えはあるか。
A 川岸公園緑地課長 新たなトイレの設置を検討していく。

Q 滑川運動公園は、どこまでが公園でどこまでが墓地かわからない。何か境界をするか。
A 長井建設部長 来年あたりをめどに頑張つていく。

Q 滑川運動公園は、どこまでが公園でどこまでが墓地かわからない。何か境界をするか。
A 川岸公園緑地課長 境界については8月に管理境界を決めるため地権者と境界立ち会いを行つた。境

界についても検討していく。

Q ほたるいかミュージアムの入館料を市内の子どもたち、保育園、幼稚園、認定こども園、小学生は無料にして、ふるさと教育の一環にしてはどうか。
A 上田市長 堀江城を想定している。建物はずっと先になるが土で高台に盛つて、ここに堀江城があつたというあかしになればいいと思つている。

Q 公園入り口から東側の築山のような山があるが何になるか。
A 上田市長 堀江城を想定している。建物は必ずしも先になるが土で高台に盛つて、ここに堀江城があつたというあかしになればいいと思つている。

Q 受診者へ、乳房のタイプの中の高濃度乳房の通知もあわせてできるような体制を。
A 結城健康センター所長 乳房のタイプが4種類あるという啓発と、自己管理の意識を向上させる意味で大変重要である。国の動向を見て積極的に取り組む。

Q 災害時の避難所となる学校の断水時のトイレの水の確保は。
A 上田市長 トイレに雨水を使うこと、これは大いに使うべきで、順次整備すべきと思っている。

Q ほたるいかミュージアムの入館料を市内の子どもたち、保育園、幼稚園、認定こども園、小学生は無料にして、ふるさと教育の一環にしてはどうか。
A 伊東教育長 市の関連する施設で市の子どもたちに見てほしい文化財見学等々も含め、交通手段、入館料についても、積極的に進めたいと思っている。

Q 新幹線から見える滑川市のPR看板の設置の進捗状況はどうか。
A 網谷観光課長 北陸新幹線の乗客からはつきり見えるよう準備を進めている。場所については早月川の河川 大掛地内に設置することとしている。

Q 児童虐待の状況はどうか。相談や通報など。
A 石川子ども課長 児童虐待相談件数は、平成27年度8件、28年度18件となつていて。

Q 乳がん検診について
防災について
滑川運動公園について
子ども対応について
まちづくりについて
児童虐待の状況は

一般質問



654321
乳がん検診について
防災について
滑川運動公園について
子ども対応について
まちづくりについて
児童虐待の状況は

開田晃江 議員

一般質問



4321

特定外来生物について
都市の将来像について
観光振興について
滑川蒲鉾取得について

青山幸生議員

Q 特定外来生物オオカワヂシャの被害状況は、また近隣での被害は把握しているか。

A 下野総務課長 上梅沢地内の河川において4月・6月に処理され合計3・6トンを除去したと聞いている。市内で大量に繁殖した情報は把握していない。

Q 田中川から自動車学校山側、領家町、高月町は水路から水をひいていると思うが、水稻への影響など地元の声はないか。

A 下野総務課長 現在のところ聞いていない。
A 下野総務課長 また関係課と協議していく。

Q オオカワヂシャは抜き取り回収し、枯らしてからゴミとして捨てる。人手とお金が非常にかかるため市として何か解決策はあるか。

A 藤名農林課長 現在は、中間管理機構等を活用した農地の集積・集約化へ力を注いでいる。また一方で、小規模な需要もあるかと思



A 地崎生涯学習課長 絵本「キラリンの旅」は平成28年に1千200部作成し、小学1年から3年生の児童及び幼稚園、保育所などに配布された。ブックスタート事業においても好評につき、在庫がなくなりました。来年度増刷し、その際、ほたるいかみー

Q 滑川蒲鉾取得について、5月22日に最初にいただいた資料と6月定例会否決後の8月28日の資料を見比べて、正直とてても4千800万円の予算計画書には見えない。なぜ付けせず再度提出したか。

A 石川海洋資源振興課長 あくまで

うので課題として検討する。

Q 平成28年9月定例会でキラリン絵本の販売について伺った。その後の検討は、またほたるいかみー

ジアムで販売はどうか。

A 地崎生涯学習課長 絵本「キラ

リンの旅」は、平成28年度から第2子の給食費を含む保育料を無料化したところであり今のところ考えていない。

Q 市へ寄付を受けて取り壊した跡地が、荒れていかないようにどういった管理を行っているか。

A 児島まちづくり課長 市で取り壊す場合は、町内会と事前に協定を結んで、町内会の方で管理をしてもらう前提で受け取っている。

Q 空き地に自治体の補助でベンチや日よけになるものを設置し、公園や憩いの場にする取り組みが行われているところがある。空き地の雑草や、ゴミの不法投棄等を防ぐ取り組みとして、市から働きかけてはどうか。

A 児島まちづくり課長 個人で除去されたものについては個人が跡地の利用・管理をされているが、市

は、町内の中でも植栽や、ベンチを

一般質問



321

子育て支援について
空き地・空き家について
買い物支援について

角川真人議員

Q 高校へ進学すると、交通費や制服、大学への進学の準備などお金のゆとりがなくなってくる。そうした家庭への支援策として、高校生までの医療費無償化を検討してはどうか。

A 児島まちづくり課長 常盤町に空き家を改修し、シェアオフィス等として活用されている事例も確認しているが、市で把握している空き家の中には旧耐震基準のものが多く、リフォームして活用するの

は費用面で難しい。

Q 近くに商店の無い方のために移動販売車を提案するがどうか。

A 長崎商工水産課主幹 市内では、電話注文で自宅まで配達してもらえるサービスや、店舗で購入したものを持ち帰ることで、自宅に配達してもらえるサービスを行っている店舗がある。

Q 電話サービスでは、電話だけが

外との接点になる恐れもある。家の外に出て、近所の方と買い物しながらおしゃべりをするコミュニケーションの手段として、移動販売は有効だと考えるがどうか。

A 長崎商工水産課主幹 コミュニケーションの場ということでは非常に有効かと思う。今後考えていく

た。

Q 滑川蒲鉾取得について、5月22日に最初にいただいた資料と6月定例会否決後の8月28日の資料を見比べて、正直とてても4千800万円の予算計画書には見えない。なぜ付けせず再度提出したか。

A 石川海洋資源振興課長 あくまで

一般質問



4 3 2 1

東加積小学校児童数の減少について
有害鳥獣被害防止対策について
みのわ温泉テニス村・東福寺野自然公園
研修センター「青雲閣」の利活用について
遊覧船キラリンの運航について

浦田竹昭議員

Q 複式学級を回避するための施策として、小規模特認校制度の指定並びに市採教員の配置を検討できないか見解を問う。

A 石倉学務課長 教員の増員については、他市町村とも連携し、県負担の教職員の配置を今後とも県へ要望していきたい。

A 伊東教育長 学校選択制を取るがよいのかどうか疑問であり、むしろ地域の中では地域の学校として大事に育てていくことが必要かと考えている。

Q 捕獲実施隊の人材育成並びに体制強化、捕獲檻の更なる増設・設置、侵入防止柵等における資材補助への拡大等の検討についての見解を問う。

A 藤名農林課長 捕獲体制の強化のため鳥獣被害対策実施隊を設置し、また実施隊員の人材育成を目的として、狩猟免許取得に対しても助成を行っている。捕獲檻の増設や実施隊員の意見を参考にして実施していく。資材補助については、予算編成の中で検討している。

Q みのわ温泉グリーンハウス、そ

A 綱合観光課長 運航できなかつた理由は、業者との調整がつかなかつたこと、また契約の解除の理由は、市と運航会社との意見の相違があり、協議の中で信頼関係が損なわれたこと。なお新たな運航業者の選定については、関係法令に基づいて安全を第一に選定し、借り契約と運航契約の2本になるものと考えている。

Q 游覧船キラリンが運航できなかつた理由、並びに運航業者との契約が一方的に解除された理由、並びに新たな運航業者の選定と契約について問う。

A 腹龜教育委員会事務局長 みのわ温泉テニス村については、故障や老朽化に伴う更新について緊急性の高いものから随時取り組んできたところであり、長寿命化については、今後とも優先順位をつけながら計画的に行つていただきたい。また青雲閣管理棟や体育館については、耐震補強または建て替えも含めて総合的に勘案し、今後の整備方針を決定していきたい。

議決結果

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第48号	平成29年度滑川市一般会計補正予算（第2号）	総民産	修正案可決
議案第49号	平成29年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	民	原案可決
議案第50号	滑川市屋内運動場の設置及び管理に関する条例の制定について	総	原案可決
議案第51号	滑川市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第52号	滑川市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	民	原案可決
議案第53号	滑川市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第54号	滑川市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第55号	平成28年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第56号	平成28年度滑川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第57号	平成28年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第58号	平成28年度滑川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第59号	平成28年度滑川市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第60号	平成28年度滑川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第61号	平成28年度滑川市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第62号	平成28年度滑川市水道事業会計決算認定について	決特	原案認定
議案第63号	平成28年度滑川市水道事業未処分利益剰余金の処分について	決特	原案可決
議案第64号	市道の路線認定及び廃止について	産	原案同意
議案第65号	工事請負契約の締結について	産	原案可決
議案第66号	富山市及び滑川市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について	総	原案可決
議案第67号	滑川市固定資産評価審査委員会の委員の選任について		原案同意
議案第68号	滑川市教育委員会の委員の任命について		原案同意

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議員提出議案第5号	滑川市議会議員政治倫理条例の制定について		原案可決
議員提出議案第6号	滑川市議会議員政治倫理条例施行規則の制定について		原案可決
議員提出議案第7号	滑川市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決
議員提出議案第8号	滑川市議会規則の一部を改正する規則の制定について		原案可決
議員提出議案第9号	道路整備予算の総額確保と道路財特法による補助率の嵩上げ措置の継続に関する意見書		原案可決
陳情第1号	特区「科学の時間」見直しの陳情	総	趣旨採択

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教委員会、民：民生環境委員会、産：産業建設委員会

賛否一覧表

会派 議員名 議案	会派自民					自民クラブ		共産党 議員団		無会派					
	原明	岩城晶巳	中島勲	中川勲	高橋久光	高木悦子	浦田竹昭	角川真人	古沢利之	青山幸生	竹原正人	尾崎照雄	谷川伸治	水野達夫	開田晃江
議案第65号	○	○	/	○	退	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○
工事請負契約の締結について 第4期安田工業団地造成工事請負契約の締結（審査の詳細については4ページをご覧ください）															
議案第66号	○	○	/	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
富山市及び滑川市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について（審査の詳細については4ページをご覧ください）															
陳情第1号	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
特区「科学の時間」見直しの陳情															

※賛成者は○、反対者は●としています。※議長は採決に加わらないため「/」としています。
全員賛成以外の議案についてのみ掲載しています。

要望書

- ① 「『ニッポン一億総活躍プラン』を地域社会で実践するシルバー人材センターの決意と支援の要望」
公益社団法人滑川市シルバー人材センター……………全議員へ参考配布
- ② 『全国森林環境税の創設に関する意見書採択』に関する陳情について(依頼)……………全議員へ参考配布
全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳
- ③ 「地球で生き続ける為の地球社会建設希望決議を、今、して頂きたい陳情書」……………全議員へ参考配布
荒木 實
- ④ 「要望書」……………全議員へ参考配布
一般社団法人富山県建築士事務所協会 会長 堂田 重明
公益社団法人富山県建築士会 会長 中野 健司
公益社団法人日本建築家協会 北陸支部 富山地域会 会長 濱田 修



議会報編集委員会の委員

中開角川山原谷川
川田晃真幸伸治
委員委員委員副委員長
委員委員委員副委員長

この号がこのメンバーでの
最後の議会だよりの発行にな
ります。2年間ありがとうございました。
「市議会だより」について、
皆さんのご意見をお寄せくだ
さい。
市議会の本会議は、ケーブ
ルテレビで放送しております
が、議場で直接、傍聴してみ
ませんか。詳しくは、事務局までご連
絡ください。

電話 475-2111
(内線371)

議会報編集委員会から

12月定例会の日程は改選後に決定します。決まり次第市ホームページ等でお知らせします。